



小野篁意約私

五之卷

目録

第一 款付をうけり園の兄弟おとひ

雄略雄略の口おわり絶を見ぬを

新見とやんとおろくん乃屋

意をたれ書は二子お家を二人お書家



第二 皇子の御指のまきねをたか

ひらくのおどろきに霞乃花の紫

ひらりともぎの友津のひけり

ふるよりおろちろろはは

第三 歌返治美歳乃身代也

音楽の一をひらく麻れ末廣

さ市代程いれほごほびの笛

ふきつらんたる春風おとす

① 歌付をうけく園く兄弟のあひ

天橋渡ふ花の一行がねと古人のうらみ

のまにせまり。都お白河ふか

あみ。杉浦か所墨の神社よりあな

お敵へ何ものよとれど。先月か

あかひのともなび。お敵修業よ

箱のれとごうけはより。ひら

そとにわりの。お文をそとで

せんごきまらた。お空と個伏の

いづきとそまてい何とぞ

さぬくにんははくうなる















ありてはともかくしと見ゆとあつて管網屋のけいふとて...  
 ありてはともかくしと見ゆとあつて管網屋のけいふとて...  
 ありてはともかくしと見ゆとあつて管網屋のけいふとて...  
 ありてはともかくしと見ゆとあつて管網屋のけいふとて...  
 ありてはともかくしと見ゆとあつて管網屋のけいふとて...  
 ありてはともかくしと見ゆとあつて管網屋のけいふとて...  
 ありてはともかくしと見ゆとあつて管網屋のけいふとて...  
 ありてはともかくしと見ゆとあつて管網屋のけいふとて...  
 ありてはともかくしと見ゆとあつて管網屋のけいふとて...  
 ありてはともかくしと見ゆとあつて管網屋のけいふとて...

ありてはともかくしと見ゆとあつて管網屋のけいふとて...  
 ありてはともかくしと見ゆとあつて管網屋のけいふとて...  
 ありてはともかくしと見ゆとあつて管網屋のけいふとて...  
 ありてはともかくしと見ゆとあつて管網屋のけいふとて...  
 ありてはともかくしと見ゆとあつて管網屋のけいふとて...  
 ありてはともかくしと見ゆとあつて管網屋のけいふとて...  
 ありてはともかくしと見ゆとあつて管網屋のけいふとて...  
 ありてはともかくしと見ゆとあつて管網屋のけいふとて...  
 ありてはともかくしと見ゆとあつて管網屋のけいふとて...  
 ありてはともかくしと見ゆとあつて管網屋のけいふとて...

三 歌 退治万葉の才代也



○此のよきところなり  
 河 藤原の書の一の波中傳  
 武文後之甲斐  
 義貞 艶軍配  
 全部五冊  
 母と母の心刻みその海  
 和隆の目出さ酒は悪人をさうよ  
 右ハ五月二日より  
 八文字系

寛延二歳  
 己酉正月吉日  
 八文字系  
 八文字系

風流扇軍	雷神不動櫻	花楓釵本地
北條時頼二女櫻	薄雪音羽滝	小野皇女釣舟
光原氏付物	風流日本花子	頼信疏軍記
善悪身打扇	豊情太平記	道成寺彼岸
三浦大助辰分舟	系圖蝦夷刺	優源平歌袋
石大將海倉裏記	弓張日曜櫻	夕霧右馬松
風流神代卷	曹呂神伽揚院	百合推錦鸞
兜燈甲州軍記	阿漕浦三巴	壇浦女見臺
曠太平記	今昔出世扇	歳徳五松



女情蓬萊山 五冊	女曾我兄弟鏡 五冊	於都儀系圖 五冊
陽炎日高川 五冊	女將門七人化粧 五冊	群村 五冊
軍法問答野橋 五冊	風流繁花散 五冊	敦盛源平枕 五冊
村少九誕生記 五冊	花競清水詣 五冊	大内裏女立巻 五冊
出世推虎者語 五冊	前堂一面鏡 五冊	彩色歌相模 五冊
本朝會誓山 五冊	女非人綴錦 五冊	盛久側柏葉 五冊
名玉女舞落 五冊	記録曾我 五冊	十示町囃巻衣 五冊
楠二代壯士 五冊	真盛曲輪錦 五冊	若女化粧櫻 五冊
津伽平家 五冊	教訓廓列絡 五冊	義貞龜軍配 五冊

コナ

當在淋北月物 五冊	起揚小法師 五冊	世間化物變氣 五冊
鶴野信樂氣 五冊		

明和四一亥年

正月

松元  
賣所

日

右坂如糸橋南三丁目角  
外屋吉屋  
京寺町通押小橋下ル  
金屋治助  
江戸日本橋通三丁目  
吉屋吉屋  
吉屋吉屋

フメイ

